

ドレンポンプ NP60H (200V)

高揚程タイプ (12.0 m / 16.0m, 50 / 60 Hz)

据付/取扱説明書

(2018.11)

安全にご使用いただくための注意

ポンプ使用対象について

- このドレンポンプは空調機及び冷凍機等のドレン排出用です。他の用途に使用する場合は事前にご相談下さい。

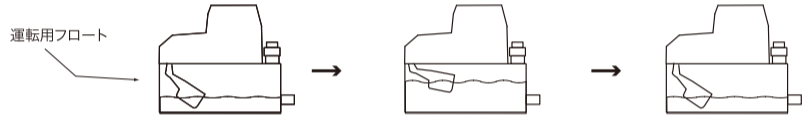
据付に際して

- 据付は必ず空調の専門業者の方が行って下さい。不備な工事は水漏れや感電、火災の原因になります。
- 据付の前に必ず『据付/取扱説明書』をよくお読みのうえ正しくご使用下さい。
- 戸外の直接雨水がかかる場所や可燃性のガス、引火物のある所へは据付けないでください。感電や火災の原因になることがあります。
- 据付工事完了後、必ず試運転を行い異常がない事を確認して下さい。
- また、この『据付/取扱説明書』は必ずお客様の方で保管して下さい。

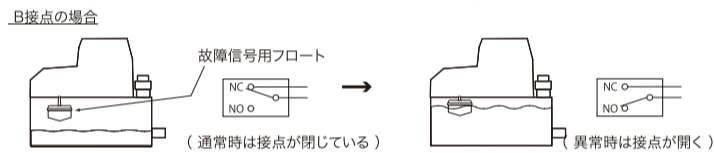
ドレンポンプ仕組みについて説明します

ドレンポンプには運転用と故障信号用の2個のフロートがついています。

運転用 — 電源を接続し、タンクにドレンが流れてくるようにして下さい。タンクの中の水位が上がリフロートが上昇するとスイッチが入り排水します。また、水位が下がるとスイッチが切れてポンプが停止致します。



故障信号用 — 通常のタンク内の水位を超えて満水近くになると故障信号用スイッチが作動し、エアコンの運転は停止します。(但し、故障信号をエアコンのインターロック回路に接続している場合)。A、B 接点取出し可能

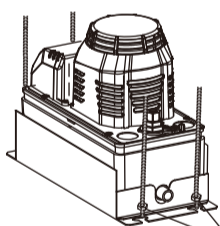


据付方法

NP60Hはタンク一体型の全自動ドレンポンプです。据付例を参照の上、下記の要領に従って据付けて下さい。

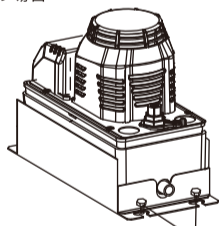
- 1) ドレンポンプを空調機のドレン出口より低い位置に水平に設置(固定)する。傾むいて設置するとフロートスイッチが正常に作動せず水漏れする恐れがありますので注意して下さい。
- 2) 付属の据付ボックスを使用する事で様々な設置が可能となります。

吊設置の場合



吊ボルトにナット平座金で固定

床設置の場合



アンカーで床に固定

据付に必要なボルト、ナット、平座金、アンカービス等は現地調達となります。

- 3) ドレンの入口は上部に2カ所(Φ33)設けています。

空調機とのドレン接続は付属のドレン入口接手を使用して塩ビ配管(VP25以下)等を接続して下さい。その際ポンプへのドレン配管が下り勾配で、ドレンが確実にタンクへ流れる様に注意して施工して下さい。

- ・空調機側に下部ドレンがある場合は付属の側面用ドレン入口接手を使用して側面入口に接続下さい。

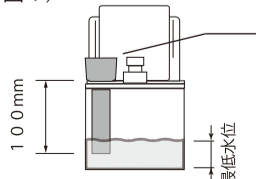
その際ドレン入口接手に接着材は使用せず、インシュロック等で固定下さい。

- ・タンク内へ入口ドレン配管を100mm以上挿入して下さい。

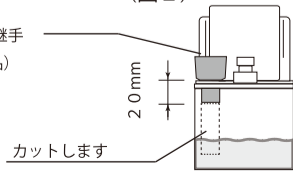
ドレントラップが必要な機種でも100mm以上挿入する事によりドレントラップとして使用出来ます。(図1)

- ・機外静圧の高い空調機(空調機のドレン配管が正圧の場合)への接続時、水飛び防止の為入口ドレン配管の挿入寸法は20mm以下で施工して下さい。(図2)

(図1)



(図2)



構成部品

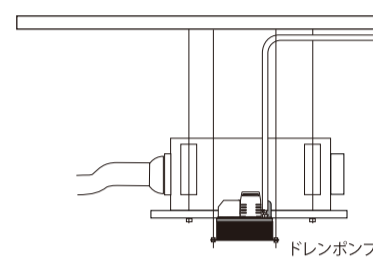
次の部品をご確認ください。

名称	ドレンポンプ	据付ボックス	銅管	ドレン入口接手	据付/取扱説明書
部品					
個数	1	1	1	各1	1

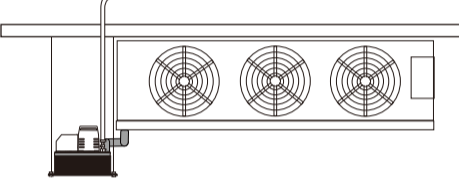
ドレンポンプ据付例

付属の取付板を使用する事でさまざまな設置が可能となります。

大型天吊型エアコンへの据付例

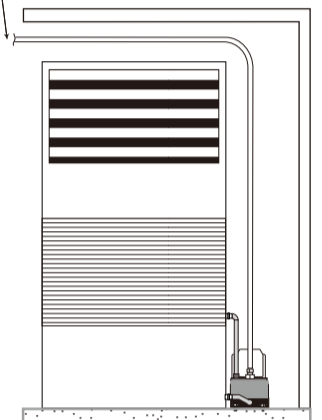


ユニットクーラー等への据付例



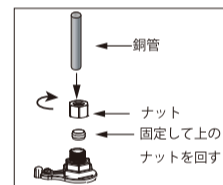
別売の塩ビ配管キット(VZ3)を使用すれば塩ビ配管(VP13)での施工も可能です。

別売品 ビニールホース(品番:H12)
断熱付ホース(品番:D12)
市販品 12x18mm 耐圧ホース
床置型エアコンへの据付例



- ・室内機1台毎にドレンポンプを設置して下さい。複数の室内機を1つのドレンポンプに接続しますと、水漏れを起こす場合があります。
- ・天井裏にドレンポンプを設置する場合はドレンポンプがメンテナンス出来る位置に点検口を設けて下さい。
- ・規定外のホースを使用した場合ポンプの性能を保証出来ませんのでご注意下さい。

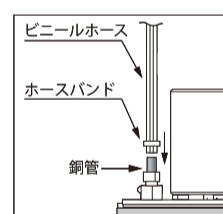
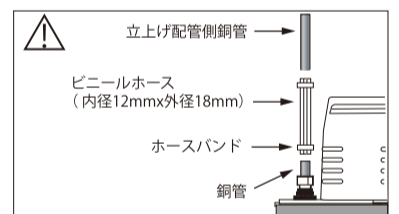
- 4) ドレン出口配管は付属の銅管を接続する事で下記の施工が可能となります。



【付属品の銅管接続】

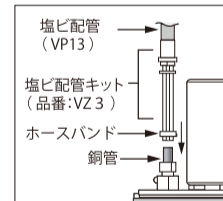
付属の銅管をドレン出口に差込みナットをスパナ等で時計回りに締め込んで下さい。(トルク値目安20~25N・m)
立上げ配管がΦ12、7の銅管でも施工可能です。この際は配管に保温をしてください。

- ⚠ 立上げ配管や曲げ配管の状況によりポンプ停止後、配管より音が出る場合があります。この場合出口近くに10cm程度のビニールホースを銅管に割り込ませて下さい。高温水の場合は耐熱ホースをご使用下さい。



【ビニールホースでの施工方法】

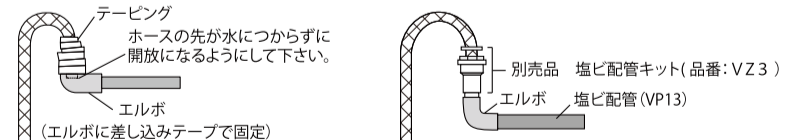
ドレン出口に接続した銅管に別売の『ビニールホースH12(使用温度60℃迄)』または市販の耐圧ホース(内径12mm、外径18mm)を差込みホースバンドで固定して下さい。高温多湿で結露の恐れがある場所を使用する場合は別売の『断熱付ホースD12』をご使用下さい。



【塩ビ配管キット(VZ3)での施工方法】

塩ビ配管キットのホースをドレン出口に接続した銅管に差込みホースバンドで固定します。ソケット側に塩ビ配管(VP13)が接続可能となります。この場合ドレン配管は保温をしてください。

- ・ホースを既設の塩ビ配管に接続する場合、末端にエルボを接続し、上からドレンホースをエルボに差し込み抜けにくいテープで固定するか、別売の『塩ビ配管キット(品番:VZ3)』を使用して接続して下さい。



- ⚠ 塩ビ配管の場合、立ち上げ配管を空気溜りが出来ないように配管をまっすぐ施行して下さい。配管途中に空気溜りが出来ると排水出来なくなる場合がありますので注意して下さい。

- ⚠ ビニールホースの場合、排水するホースの末端位置はポンプより高い位置にて太い配管に放流するように排水して下さい。ポンプより下へ末端を持ってくるとサイフォン現象によりタンク内の水を全て引っぱりだし異音が発生する事がありますのでご注意下さい。

